

誰もが気楽に集える町のランドマークを目指して ～本のあるカフェ『アレック』など4館+αで特徴ある取組～



有田川ライブラリー（和歌山県有田川町） <http://www.town.aridagawa.lg.jp/library/top.html>

基本データ（数値はH25年現在）

住所	有田郡有田川町下津野704
電話番号	0737-52-4730
人口（図書館が所在する市町村）	27,589人
職員数（うち有資格者数）	10人（4人）
蔵書数	163,875冊
登録者数	14,159人
年間貸出冊数（H24）	335,201冊

目的・趣旨

有田川町では4館ある図書施設を一体とし、『有田川ライブラリー』として、『本のあるカフェ・アレック』を中心に4館と移動図書館、電子図書館の運営を行っている。館ごとに特徴を持たせ、『気軽に誰もが利用し交流できるスペース作り』を目指している。

取組概要

- ①本のあるカフェ『アレック』…お茶とランチで本を楽しみ、多様な取り組みにより集客もできる。町のランドマークとなる図書館を目指す。
- ②絵本の駅美術館『ポンテ・デル・ソーニョ』…毎月異なる絵本作家による絵本の原画展と絵本を楽しむ駅内スペース。
- ③子供のための『金屋図書館』…町内図書施設それぞれに特徴を出し、利用者の利便性を向上。
- ④地域密着型『清水図書室』…過疎地対応
- ⑤電子図書館…タブレットにも対応。地域資料に主眼を当てる。



アレック外観

特徴

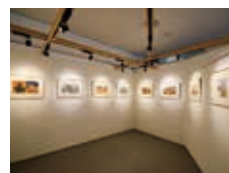
- ①『アレック』
町民の憩いのスペースとしてコーヒーやランチを楽しみながら本が読める、会話ができる図書施設、3万5千冊のマンガ館も併設。
- ②『ポンテ・デル・ソーニョ』
絵本によるまちづくりをめざし、JR藤並駅構内に設置。月替えで有名絵本作家の原画を展示。絵本約2千冊を揃え、絵本の発信基地として機能。
- ③『金屋図書館』
児童幼児書を中心として、読み聞かせ、プレママ講座、絵本祭りなどに取り組む。
- ④絵本コンクール
絵本作家や出版関係者を審査員として絵本コンクールを開催し、『絵本によるまちづくり』を実施。絵本の持つ力を活用し、地域ボランティアとも協力して『絵本と子育て』を実践している。
- ⑤電子図書館の取り組み
電子図書館を開館。地域資料を積極的に電子化し、消えゆく伝統文化を含め、貴重な資料と記録を電子媒体で提供している。



①テラスでの読書



②木を使った内装



②原画展示スペース



③④絵本作家が本棚に書いた絵



⑤電子図書の利用

取組の成果と今後について

『本のあるカフェ』として、平成21年4月に開館したアレックは、町人口割りでは約4割の来場者があり、図書館の新しいあり方の一方を示す結果となった。図書館コンシェルジュ、コミック誌、電子書籍、そして絵本への積極的な取り組みなど、イベントと組み合わせる形で『本と親しむ』方々が増加したことは大きな成果と考える。今後、公立図書館の使命を堅持しつつも、積極的に新たな展開を模索し、この町に住んでよかったと思われる図書館づくりを目指していく。